



活着後は浅水管理を徹底し、初期分げつの発生を促しましょう。
田植え時期、生育状況に合わせて、除草剤を散布しましょう。
溝掘りは田植後25日頃、中干しは田植後4週間までに開始しましょう。

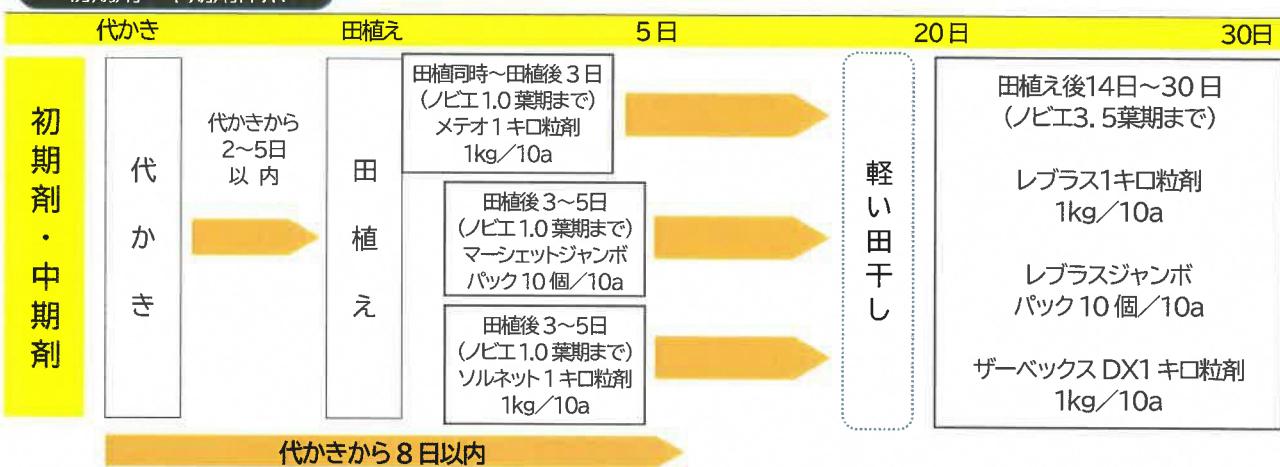
1. 田植後から中干しまでの水管理 (営農日誌 P72 参照)

- 田植え直後は植え痛みを防ぎ、湛水による保温効果を高めるため、やや深水管理とし活着を促しましょう。
- 活着後から中干しまでは、浅水管理(2~3cm)とし、水温・地温の上昇に努め分げつの発生を促進してください。
- 入水は、早朝か夕方に行い、日中は止水とし、水温を高めてください。
- 田のワキ防止と発根促進のため、暖かい日を選び軽い田干し(1~2日間落水)を行ってください。

2. 雑草防除「初期剤-中期剤体系、一発処理剤体系」(営農日誌P73~74 参照)

- 除草剤は使用基準を守り適期に適量を、ムラなく散布しましょう。
- 除草剤の効果安定のため、除草剤散布後5日程度は、湛水状態を保ちましょう。
(水が減る時は、田面が出る前に、ゆっくりと足し水を行う)
- 散布後7日間は止水管理(落水やかけ流しをしない)とし、水田外への除草剤成分の流出を防ぎましょう。

初期剤-中期剤体系



一発処理剤体系



除草剤の散布日は目安です。
雑草の種類や葉令を確認し、
適期に散布しましょう。

★ 「やまだわら」などの飼料用米には、次の3成分を含む除草剤は使用できません(営農日誌 P73 参照)。

(成分名) ベンゾビシクロン	(成分名) テフリルトリオン	(成分名) メソトリオン
ウイードコア1キロ粒剤	カチボシ粒剤・ジャンボ・フロアブル ディオーレ粒剤・ジャンボ・顆粒 バイスコープ1kg粒剤 レプラス粒剤・ジャンボ	アトカラ S ジャンボ MX



3. 雜草防除（中後期剤）（當農日誌 P73～74 参照）

- 中期除草剤を散布する前に軽い田干しを行いましょう。
- 発生している雑草の発生状況（種類や葉令）を確認し、適切な除草剤を選び散布してください。
- 除草剤は、使用時期を少しでも過ぎると効果が大きく低下することから、特にノビエの葉齢に注意し、遅れないように散布しましょう。

除草剤名		対象雑草	使用時期※	散布量/10a	使用上の注意
中期剤	ザーベックス DX1キロ粒剤	ノビエ 広葉雑草	移植後 20～30日 ノビエ 3葉期まで (収穫 60日前まで)	1kg	湛水状態で散布。 イネ5葉期以前の使用は避ける。
	アトカラS ジャンボ MX		移植後 20～30日 ノビエ 3葉期まで (収穫 45日前まで)	25g×20個 (500g)	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 (田の高い部分が水面より上に出る前に、ゆっくりと足し水をしましょう)
	レプラス 1 キロ粒剤		移植後 14日～30日 ノビエ3.5葉期まで (収穫 60日前まで)	1kg	
後期剤	クリンチャー1キロ粒剤	ノビエのみ (残効なし)	移植後7日～ノビエ4葉期まで (収穫 30日前まで)	1kg	
	トドメMF1 キロ粒剤		移植後 25日～ノビエ5葉期まで (収穫 30日前まで)	1.5kg	
	ヒエクリーン豆つぶ 250	ノビエのみ (残効あり)	移植後 14日～ノビエ5葉期まで (収穫 50日前まで)	1kg	
	トドメMF乳剤		移植後 15日～ノビエ4葉期まで (収穫 45日前まで)	250g (手散布可能)	
	バサグラン粒剤	広葉雑草のみ	移植後 14日～ノビエ6葉期まで (収穫 50日前まで)	200ml 水100lで希釈	落水散布 または 湛水散布 (少なくとも3～4日間は湛水状態を保つ)
	トドメバスMF液剤	ノビエ 広葉雑草	移植後 15日～ノビエ6葉期まで (収穫 50日前まで)	1,000ml 水100lで希釈	晴天時(処理後2日以内の降雨で効果減)に落水状態で散布し、散布後3～4日間は、入水・落水をしない。

※使用時期は県防除指針を参考に記載しています。

4. 溝掘り・中干し（當農日誌 P75～76 参照）

- 中干しや水管理を効果的に行い、収穫作業をスムーズに行うため、田植え後25日頃に 溝掘りを確実に 行ってください。
- 効率よく入排水できるよう、15～20条に1本を目安に溝を掘り、排水口に連結 してください。
- 中干しは、田植後4週間までに遅れずに開始してください。

【お問い合わせ】				
砺波農林振興センター	農業普及課 砧波班	32-8113		
となみ野農業協同組合	経済部 生産企画課 稻種センター	32-8619 82-0117	資材配送センター(あぐり館) 農業機械センター	32-5440 58-5520

令和5年度 春の農作業安全確認運動 展開中！（3月1日～5月31日）
『しめよう！シートベルト・かぶろう！ヘルメット』
「ヒヤリ」「ハット」した経験を農作業事故の未然防止に役立てましょう！